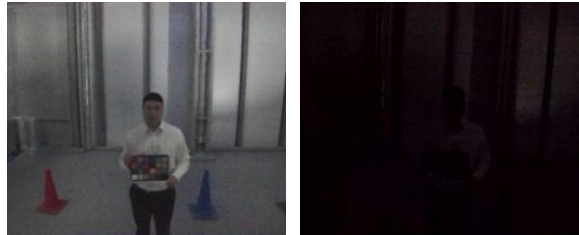


**暗所や明暗差のある環境下にも強いネットワークカメラ 6 機種を発売
映像解析に求められる高い映像品質と配信・圧縮性能の向上を実現**

キヤノンは、低照度性能や広いダイナミックレンジを実現したネットワークカメラの新製品として、“VB-H47/VB-M46” など 6 機種を 2022 年 5 月下旬より順次発売します。



“VB-H47/VB-M46”
(チタニウムホワイト・ブラック)
*天井取付用カバー装着時



低照度性能比較イメージ (左:新製品、右:従来製品)
*0.03 ルクスの環境下で撮影

ネットワークカメラは、街・店舗の防犯や高齢者の見守りなど社会の安全・安心をはじめ、生産現場における品質確認など、さまざまな場面で活用されています。また、スマートシティや DX を推進する上で、撮影した映像と AI 解析アプリケーションを組み合わせ合わせた活用も身近になっています。このような活用事例では十分な解析精度を得るために、より高い映像品質が求められています。

高性能 PTZ (パン、チルト、ズーム機能) モデル “VB-H47/VB-M46”、屋内・屋外小型モデル “VB-S32VE/VB-S32D/VB-S820D/VB-S920F” の新製品 6 機種は、いずれも新高感度 CMOS センサーと新エンジンを採用し、暗所や逆光のような明暗差があるシーンでも鮮明な映像が撮影可能です。

キヤノンは、映像品質を高めた新製品を発売し、映像活用の多様化に応えます。

■ 高感度 CMOS センサーと独自の光学技術で最低被写体照度を向上

新製品 6 機種はいずれも新高感度 CMOS センサーを採用し、レンズをはじめキヤノンの光学技術との融合で最低被写体照度の向上を実現しました。中でも “VB-H47/VB-M46” のカラー撮影における最低被写体照度は従来機種^{※1}の 0.05 ルクスから 0.02 ルクスに向上しています。星明かり程度の暗い環境下においても、ノイズの少ない映像で細部までクリアに認識することができ、夜間警備などで効果を発揮します。

■ 新エンジンにより映像の配信/圧縮性能の向上や広いダイナミックレンジを実現

新製品 6 機種はいずれも新エンジンを採用し、配信可能な映像のフレームレートは従来の 30fps から最大 60fps^{※2}に向上しました。動画圧縮規格「H.265」「H.264 High プロファイル」にも新たに対応し、高画質な映像もデータ容量を抑えて配信します。また、広いダイナミックレンジを実現し、明暗差の大きい建物の出入口などでも黒つぶれや白とびを抑えた鮮明な映像が撮影可能です。

製品名	希望小売価格	発売日
VB-H47/VB-M46/VB-S32VE/VB-S32D	オープン価格	2022年8月下旬
VB-S820D/VB-S920F		2022年5月下旬

※1 VB-H45/VB-M44 (2017年11月発売)。

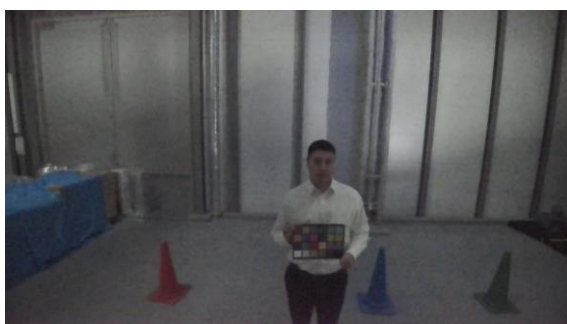
※2 VB-S32VE/VB-S32D は 30fps。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0074
● ネットワークカメラホームページ : canon.jp/webview

<主な特長>

1. 高感度 CMOS センサーと独自の光学技術で最低被写体照度を向上

- ・新製品 6 機種はいずれも新高感度 CMOS センサーを採用。レンズをはじめキヤノンの光学技術との融合で最低被写体照度の向上を実現。
- ・“VB-H47/VB-M46” のカラー撮影における最低被写体照度は従来機種の 0.05 ルクスから 0.02 ルクスに向上。星明かり程度の暗い環境下においても、ノイズの少ない映像で、細部までクリアに認識することができ、夜間警備などで効果を発揮。
- ・“VB-S820D/VB-S920F” は 0.02 ルクス、“VB-S32VE/VB-S32D” は 0.15 ルクスの最低被写体照度（カラー撮影時）を実現。

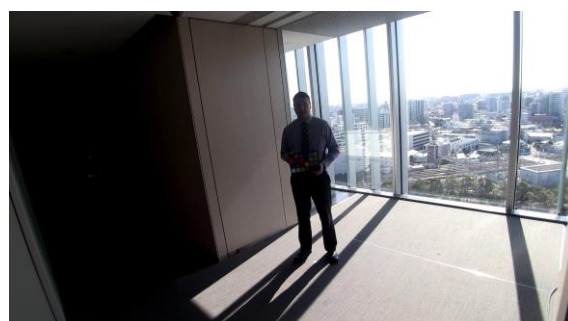


低照度性能比較イメージ（左：新製品、右：従来製品で撮影）

*0.03 ルクスの環境下で撮影

2. 新エンジンにより映像の配信／圧縮性能の向上や広いダイナミックレンジを実現

- ・新製品 6 機種はいずれも新エンジンを採用。配信可能な映像のフレームレートの最大値が従来の 30fps から 60fps へ向上。
- ・動画圧縮規格「H.265」に新たに対応。従来対応していた「H.264」においても新たに Main と High のプロファイルに対応。高画質な映像もデータ容量を抑えた配信が可能で、モバイル端末への伝送やクラウドサービスへのアップロードにおいて効果を発揮。
- ・広いダイナミックレンジを実現。逆光などで明暗差の大きい建物の出入口などでも黒つぶれや白とびを抑えた鮮明な映像が撮影可能。



明暗差のあるシーンにおける撮影画像比較イメージ（左：新製品、右：従来製品で撮影）

3. 多様なニーズに応える幅広い製品ラインナップ



“VB-S32VE”



“VB-S32D”



“VB-S820D”



“VB-S920F”

- ・“VB-H47”はフルHD、“VB-M46”は1.3メガピクセル撮影が可能。また、パン、チルト、ズーム機能やオートフォーカス機能、光学20倍ズームレンズに加えて拡張デジタルズーム機能を搭載。自在な画角で幅広いズーム域を高精細に撮影可能。駅やショッピングモールなどの大規模施設のモニタリングに好適。
- ・“VB-S32VE/VB-S32D”はパン・チルト・ズーム機能を搭載した小型ドーム型モデル。カメラの威圧感を抑えたいオフィスや店舗などの小規模施設のモニタリングに好適。さらに“VB-S32VE”はIP66^{※1}やIK10^{※2}にも対応。店舗の軒下や風雨を受ける環境にも設置可能。
- ・“VB-S820D”は小型固定ドーム型モデル。歪曲収差の少ない広角レンズを搭載し、広い空間を俯瞰可能。壁面設置にも対応し、ATMや受付などにおいて正面からのモニタリングに好適。
- ・“VB-S920F”は小型固定ボックス型モデル。水平画角99.2°^{※3}の広角レンズを搭載することにより、空間全体を俯瞰したモニタリングが可能。

※1 IEC（国際電気標準会議）によって定められている防じん・防水の保護規格。

※2 CE（ヨーロッパ規格）EN50102に準じた電子機器に対する外部からの耐衝撃保護に関する規格。

※3 アスペクト比16：9の場合。

<ネットワークカメラの市場動向>

防犯や防災などのセキュリティ分野の成長に加え、店舗での顧客行動の分析や工場での生産状況の把握、医療現場における対面や接触の回避など、多岐にわたる分野で活用が進んでいます。また、AI技術などと組み合わせた映像解析ソリューションの需要も高まっています。

2021年の世界市場で約123億米ドル（前年比約15%増）と、市場規模が拡大したとみられます。2022年も引き続き拡大基調を維持し、世界市場で約138億米ドル（前年比約12%増）と予想しています。

* 出典：テクノ・システム・リサーチ社「2020年版 ネットワークカメラ市場のマーケティング分析」

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。